

○ 行政系施設(役場本庁舎・吉川支所)

- ・ 役場本庁舎の一部は、平成26年度に耐震診断を行った結果、耐震基準を満たしていないことが判明しており、災害時の拠点となる施設であることから早急に整備を行う必要があります。しかし一番古い棟は昭和40年建築と建築後50年を経過しているところから、費用対効果を考慮した上、耐震補強か改築(移転・新築を含む)かなど、今後の方針を検討します。
- ・ 吉川支所は、耐震診断を行った結果、耐震性を有することが判明しています。

○ 文化系施設(中央公民館・西公民館・ユーベルホール)

- ・ 中央公民館のみが旧耐震基準の建物で、平成26年度に耐震診断を行った結果、耐震基準をみたしていないことが判明しています。
- ・ ユーベルホールは平成4年に建築された建物で、令和3年に建築後30年を経過するため、更新経費の試算上では大規模改修を行う必要があります。

○ スポーツ・レクリエーション施設(スポーツセンターシートス・スポーツ広場)

- ・ スポーツセンターシートスは、平成8年建築で、建築後20年が経過しているため、今後の大規模改修を視野に入れ、計画的に予防保全的な修繕を行った上で、今後のあり方について検討する必要があります。

○ 社会教育系施設(図書館・郷土資料館)

- ・ 図書館は、新耐震基準による建物で耐震性は確保されていますが、昭和60年建築と整備から30年を経過しています。大規模改修も視野に入れた上で、今後、予防保全的な修繕を行い、計画的な施設管理を行っていきます。
- ・ 郷土資料館は、東能勢小学校の旧講堂を改修して整備された建物であり、昭和初期の建築物であり、今後抜本的な整備をどのように行うかを検討する必要があります。

○ その他(国民健康保険診療所・衛生センター)

- ・ 国民健康保険診療所は、東地区の拠点として昭和62年に整備されたもので、耐震基準は満たしているものの建築後30年を経過しており、今後、大規模改修も視野に入れた施設管理を検討する必要があります。